

先輩方、成人パーティーって知ってます??



▲総勢 152名!!



▲めいじろうのプリントケーキ
▲華やかなドレス姿で

「明校を卒業したばかりの若手は、総明会にも顔を出さず、愛校心が足りない」先輩方の中には、そう嘆く方も多かろう。しかしご存知だろうか? 近年では、高校卒業から二年の節目に、「成人パーティー」なるイベントを開催することが恒例化している。企画から運営までを自主的にこなすその姿は、さながら「ミニ幹事学年」だ。付属生の中には、一二歳から明校で学び、地元の成人式に行っても知り合いがないという者も多い。成人パーティー開催の背景には、付属ならではの理由もあるわけだ。一月七日に開催された、平成二十七年成人パーティーに、本誌編集メンバーが潜入した。(担当:坂本・塩出)

オトナの過程



Vol.2

2017年10月1日
総明会広報委員会
『M』編集部

DATA

- ★会場:バトール新宿
- ★参加費:7,800円
- ★参加人数:152名(全体の6割)
- ★ドレスコードあり
- ★未成年はアルコール類禁止
- ★明校の先生方も来てくれた

※抽選会の豪華景品

- 一等 ペア宿泊券×1
- 二等 ペア食事券×1
- 三等 デイズニーペアチケット×3

10等まであって、総額は何と……、10万円だとか!

光があれば影もある。華々しく開催されたパーティーの一方で、影にひそむ者たちの姿も。例えば、景品が当たっても、光り輝く舞台上に上がる勇気が無く、結局名乗り出なかった者(かくいう筆者S本がそうである)。「大学でも会える」と、パーティーそのものに参加しなかった者。さらに他学年では、「まぶしい」メンツによるパーティーに對抗し、「地味」成人パーティーなるものを企画した猛者たちもいたと聞く。影の側にも、明校らしい「個」の論理が垣間見える。

まぶしいメンツの一方で……

熱意あふれるコメントの全文は、『オトナの過程』M』Facebookで公開中!



◆「ミニ幹事学年」の舞台裏

開催準備に奔走した、総明会クラス幹事代表・赤坂菜摘さんのコメント。

「幹事全員が集まることはなかなかできず、SNSのやり取りや、少人数での準備が主でした。全貌を把握していたのは僅かなメンバーのみで、正直苦しい時期もありました。当日準備をしていると、ドレスやスーツに身を包んだ同級生が集まってきた、本当に素敵でした。会が始まると、まるでそこは調布キャンパスの一角に。卒業から二年経っても、高校の頃のように盛り上がる同級生が、私は大好きです。会も無事成功し、苦しい時期を乗り越えてよかったと心から思いました」

「はじめに」は「はじめに」は

「総明会のイメージは？」と問われれば、多くの若手OBOGは、きつこう答えるだろう。「ええと……宗教団体とか秘密結社的な感じですか?」

移転共学化から一〇年弱を経て、おじさま方と若い世代との会話は、ますますかみ合わなくなってきた。もしかしてこのまま行くくと、同窓会は自然消滅してしまうのだろうか?

大先輩方と若い世代との間に横たわる、大きなミゾを埋めるには、若手OBOGが、自分たちの共感できる明校生像を模索し、提示・発信する場が必要だ。そんな思いから、「オトナの過程」M』は生まれた。

現役大学生や新米社会人が編集メンバーとなり、明校出身者の多様なキャンパスライフを描き出す。きつとそこから、『過程』とも『総明会会報』とも異なる、新たな明校生像が浮かび上がってくるはずだ。

(担当:三浦)

明治線途中下車

Hiroaki ISHII
石井宏明さん

明中→明高→明大という既定路線から、途中下車した方々に迫るコーナー。今回は、当時珍しかった外部受験を経験して明大に進学(脱線しかけた?)、消防官、長年のボーイスカウト活動など、異色の経歴を持つ石井さん。

ウチから見た明治、ソトから見た明治。異端だからこそ伝えたいこと。



profile

東京消防庁消防官。
H23年明治高校卒。明大理工学部・同理工研を経て現職。好きな女優は新垣結衣。高1時担任の早川尚子先生曰く、「シャイな男子校世代の典型像」。

▲南魚沼郡の飯士山にて

◆ボーイスカウトという居場所から。同期だけど、やっているの知らなかったな。

三浦 まずはボーイスカウトの話から。同期だけど、やっているの知らなかったな。

◆外部受験と消防官

三浦 外部受験を意識したのは? 石井 中学入る前からだよ。明校は第一志望で、一面倒見も良いけど、付属だとやっぱり、文武両道の「文」が足りないかなと。俺らの頃はまだ受験がタブーみたいな感じだったから、いま普通の選択肢になっているのは嬉しいね。受験を経験して明大入ったけど、同期でもそれを知らない人はいたと思う。実は俺だけ、付属の友人と学籍番号が離れていた(笑)。

◆全力を出さない明校生へ

三浦 常に全力な石井ちゃん、八割の力で何でもこなす明校生の中で異端だね。

石井 消防官の仕事は、八割では許されないんだよ。よく、「自分の命、仲間の命も守れないヤツに他人の命を助けることなんてできない」って言われる。災害対応の最前線では、常に全力が求められるわけ。例えばロープの結び方一つにしても、日頃から訓練してミスのないようにしなきゃいけない。明校生の試験前全力ブリストは凄いいけど(笑)、それを普段から発

三浦 現実的な選択肢として消防官を意識したのは?

石井 知られていないけど、実際の消防官は理系の仕事でもある。化学(消火)、機械(装備)、建築(建物構造)とかね。あとは東日本大震災で再認識した部分はあったね。大学院在学中に晴れて消防官に合格。特に俺の場合は、体の線が細いから、体力試験でガタイのいいやつに伍していくために、歯をくいしばって頑張ったね。理系だから消防官ってのもあるけど、今考えてみると、ボーイスカウトで培ったチーム生活・行動力とか、寄り道してきたからこそ、憧れを実現出来たのかもね。

『M』編集部メンバー

- 林田こずえ (H23年卒):「言論の自由の女神」
- 高橋凌士 (H23年卒): (今年度は休部中)
- 三浦直人 (H23年卒):「入院3年目。病名、歴史学」
- 朝倉貴紀 (H24年卒):「自宅本棚を十進分類法で整理」
- 土屋弦 (H26年卒):「デートで編集会議すっぽかす」
- 岩田澪夏 (H27年卒):「ミドリムシ」
- 坂本駿太 (H27年卒):「『過程』オタクのイクタミン」
- 塩出研史 (H27年卒):「Ootover (オオトヤー)」
- 垣日菜子 (H28年卒):「アウトサイダー」
- 高波茉生 (H28年卒):「部外者」

(担当:三浦・土屋)

明高女子・現役女子大生・OLに、恋愛と美容の興味のポイントをアンケート。それぞれの世代を生きる明治女子のイマドキ事情とは？

JK V.S. JD V.S. OL

恋と美容のポイント対決

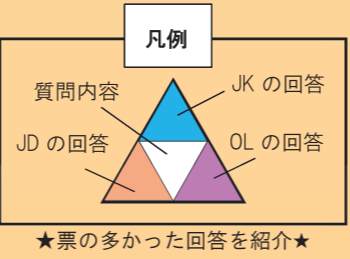
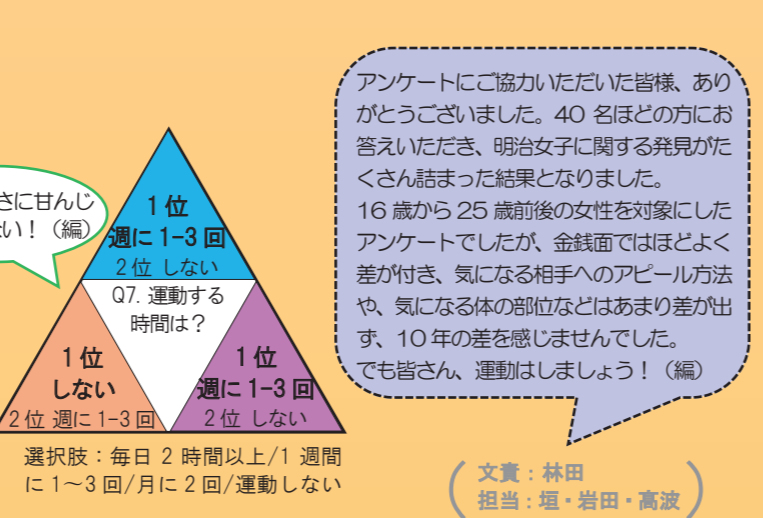
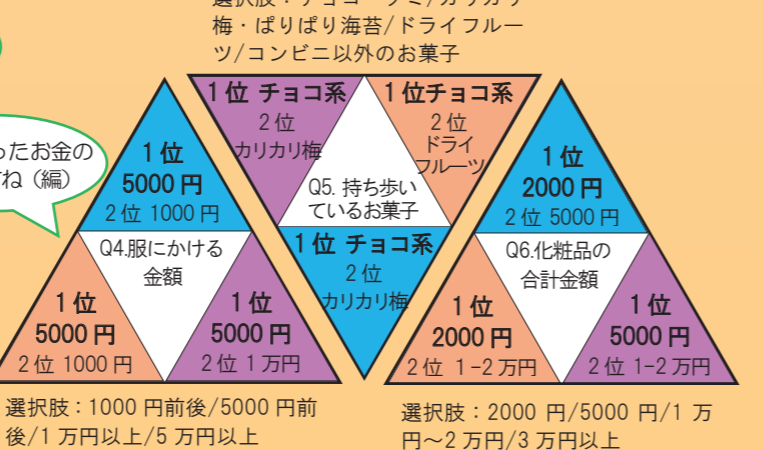
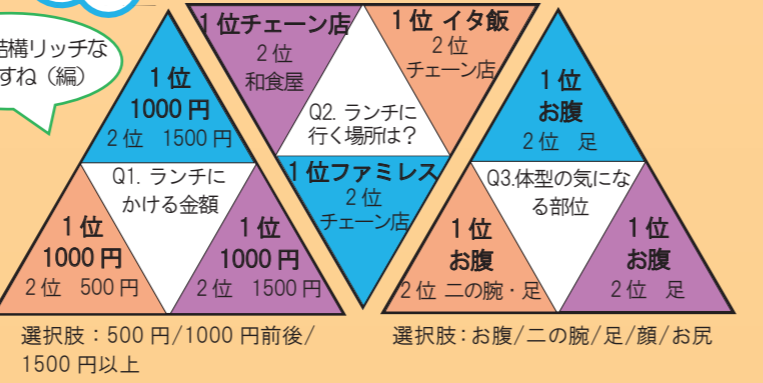
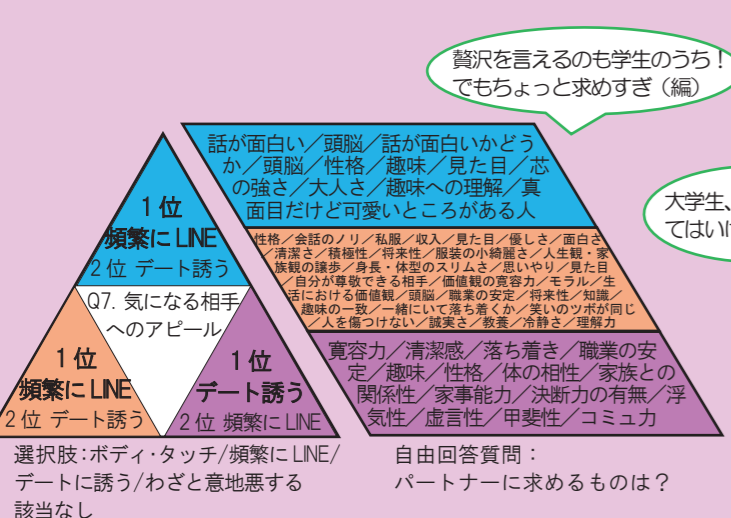
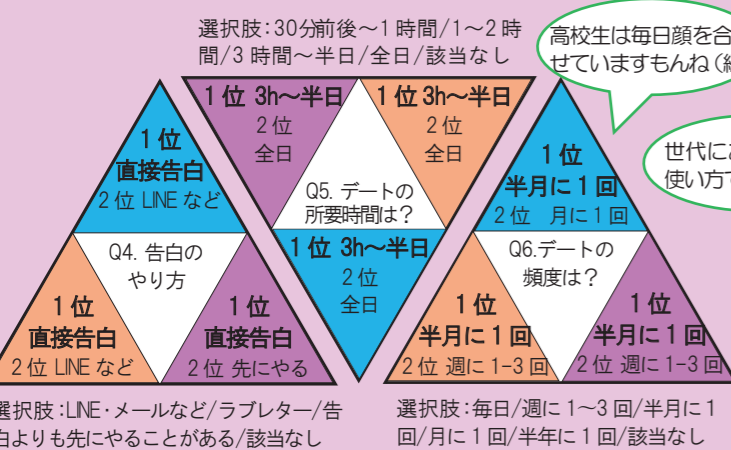
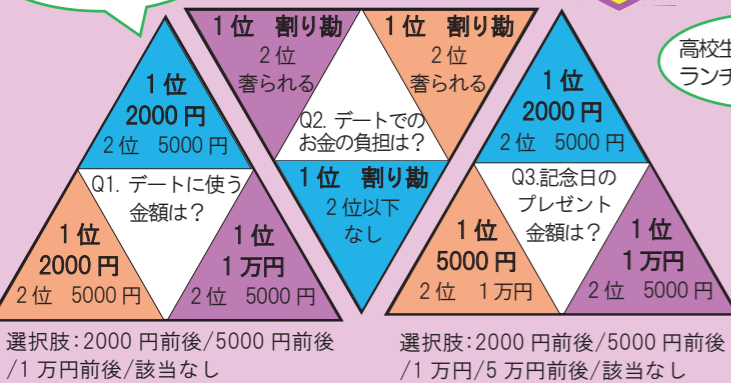
恋愛編

美容編

選択肢：ファミレス/ワンコインご飯/チェーン店のご飯処/お洒落なイタリアン/本格和食屋

※大学生・OLについては、明校出身ではない明大関係者にもご協力いただきました。

見よ、社会人の経済力を！(編)



高3の「卒業研究」を「小論文演習」に切り替えることになったとき、「何でも構わないことを」と思った▼六年間ないし三年間の集大成として、卒業らしきものを執筆するという従来制度は、いかに明校らしい、生きた学びだったか。付属校ならではの取り組みから、枠にはまらぬトガった才能がいくつも生み出されてきた▼ところで、長い文章を論理の破綻なく完結させるには、小手先のテクニクに留まらない、書き手の「軸」が必要だ。だから卒業の各作品には、未完成ではあれ、生徒一人一人の「軸」がきちんと貫かれていた▼もちろん中には、ウィキペディアの引用でお茶を濁した方々もいる。だがそんな御仁も、自らの「軸」が定まっていなくても、間違ったという意味では、間違いなく、個を追求するスタート地点に立っていったはずだ▼確かに卒業は、すぐには役に立たぬ「ムダ」の多い学びであった。しかしながら、即効性を欠く大らかな学びの中に、明校らしい個の芽吹きがあったこともまた事実である。

(担当：三浦)

イタダの困難を乗り越えて

ある生田民の心の叫び

前々から思ってたけど、生田の冷遇っぷり半端ないな！
この前、同期の集まりで、突然「駅前に12:00ね〜」って言われた。駅前ってどこだよ！生田駅に行くぞ！理系はお呼びでないってか！明大前が中心だと思えよ！
ってか、生田坂に書いてある「アライグマ出没注意！」って何だよ。何でキャンパス内に獣が出てくるんだよ。
他にもあるぞ。何で生田だけ各停しか止まらないんだ。明大前・中野・御茶ノ水の3キャンパスは、全部特急まで止まる駅なのに。しかも、去年までは生田だけ、1限が10分早くスタートだったからね？おかしいだろ！
あと文系の人に「農学部です」って言うと、「農家になんの？」って言うのやめてくんないかな？ならないから！
ああ、生田にもリパティタワー建ててくれ……。


(担当：坂本)

明校時代は生徒会本部に所属、現在は衆議院事務局に勤めています。いわば「国の生徒会」みたいなものですね(笑)。
具体的には、衆議院議長・副議長・事務総長のサポートをしています。日々の業務の中で、生徒会時代の「文書主義」の経験が生きているのを感じます。
昔から自分のためというよりは、人のために何かをやりたいタイプでしたね。横須賀伴子先生のクラスでは、友人から「副担任」って言われていました(笑)。テスト前も、成績で困っていた人の力になれるよう努力していましたね。人のために働く公務員という仕事を意識したのも、ある意味必然だったかもしれません。
公務員試験を受けるにあたっては、明校時代の勉強法も役に立ちました。満点を目指すのではなく、確実に六、七割取

就部活

亀屋将紀さん

- ◆ H22年卒
- ◆ 生徒会本部
- ➔ 衆議院事務局



れるような対策をする。「負けないことがすなわち勝ち」というスタンスを貫きました。公務員試験の過去問でも、出題頻度の低い問題よりは、高い問題を重点的に押さえていましたね。学校の定期試験でも公務員試験でも、範囲を全てカバーしようとするのは、あまり得策ではないのかもしれない。
「国の生徒会」に入って早四年。当初は、直接住民の役に立つ仕事を指し、公務員を志しましたが、今の仕事はどちらかというと、間接的に国民の役に立つ仕事という位置付けでしょうか。自分の関わった仕事がニュースや新聞で紹介された時には、良い仕事が出来て良かったと思うんですね。

(聞き手：朝倉)

Home

オトナの『過程』M
@M-meiji

「オトナの『過程』M」公式垢です。只今『M』では、明校出身の奇才・塩出研史さんに関する目撃情報を集めています。
07/08/2017, 6:16 PM

大戸屋店員 T @tsuchiyaister 08/08/2017
Replying to @M-meiji
この人は大戸屋中毒者です！今年はずでに96回も大戸屋へ通ったそうです。昼も夜も大戸屋に来たことがあり、少し引きました笑 いつもご飯は少なめの白米を選びます。

中学の同級生 S @shunta 08/08/2017
Replying to @M-meiji
中1の習字の授業では、隣の席の僕の左腕に、ひたすら墨を塗りつけてきました。

オトナの『過程』M @M-meiji 09/08/2017
Replying to @tsuchiyaister and @shunta
はじめから変な情報ばかり来ましたね www

TOEIC 勉強会員 Y @inthemou 10/08/2017
Replying to @M-meiji
TOEIC 勉強会を発足し、TOEIC への愛を周りに振り撒いていっちゃる。学部1年の頃にはTOEICで960点を取得されており、その愛の強さで右に出るものは無い。彼はそのままTOEICと共にどこへ行ってしまおうのか…。

研究室メンバーA @take 10/08/2017
Replying to @M-meiji
彼はPHPというプログラム言語を愛しています。研究にも力を注ぎ、学部2年の頃にはMouseTutorという題目で学会発表を行っていました。学部長奨励賞も受賞しています。

オトナの『過程』M @M-meiji 11/08/2017
Replying to @take and @inthemou
変人というか天才というか、とにかくトガった人材ですね！実はそんな塩出さんを『M』編集部へ迎え入れたいと思っています。

塩出研史 @KenshiShiode 12/08/2017
Replying to @M-meiji
ん？僕のこと呼びました？

オトナの『過程』M @M-meiji
まさかの本人登場！突然ですが、あなたを『M』編集部へスカウトします！
(完)
13/08/2017, 6:16 PM

(担当：塩出・坂本)

【注意】これは人物紹介記事です。実際の人物や団体などとは、関係しかありません。

先輩方、成人パーティーって知ってます??



▲総勢 152名!!



▲めいじろうのプリントケーキ
▲華やかなドレス姿で

「明校を卒業したばかりの若手は、総明会にも顔を出さず、愛校心が足りない」先輩方の中には、そう嘆く方も多からう。しかしご存知だろうか？近年では、高校卒業から二年の節目に、「成人パーティー」なるイベントを開催することが恒例化している。企画から運営までを自主的にこなすその姿は、さながら「ミニ幹事学年」だ。付属生の中には、一・二歳から明校で学び、地元で成人式に行っても知り合いがないという者も多い。成人パーティー開催の背景には、付属ならではの理由もあるわけだ。一月七日に開催された、平成二十七年成人パーティーに、本誌編集メンバーが潜入した。(担当:坂本・塩出)

オトナの過程



Vol.2

2017年10月1日
総明会広報委員会
『M』編集部

明治線途中下車

Hiroaki ISHII
石井宏明さん

明中→明高→明大という既定路線から、途中下車した方々に迫るコーナー。今回は、当時珍しかった外部受験を経験して明大に進学(脱線しかけた?)、消防官、長年のボーイスカウト活動など、異色の経歴を持つ石井さん。

ウチから見た明治、ソトから見た明治。異端だからこそ伝えたいこと。



▲南魚沼郡の飯士山にて

profile

東京消防庁消防官。
H23年明治高校卒。明大理工学部・同理工研を経て現職。好きな女優は新垣結衣。高1時担任の早川尚子先生曰く、「シャイな男子校世代の典型像」。

◆ボーイスカウトという居場所
三浦 まずはボーイスカウトの話から。同期だけど、やっているの知らなかったな。

石井 今も指導者として携わっているよ。最初は面白くなかったけど、小六でテント張って泊まるようになってから急に楽しくなってきた。部活も入ったけど、ボーイスカウトも、それとは別の居場所としてあるというか。一緒に飯食って寝るから距離が近い。俺が中心の時に二九歳で指導してくれた人が、今も指導者だったり。部活よりも遙かに長くて、年齢幅も広い交友関係だね。おかげで価値観の尺度が学校だけにならず済んだ。

な。中学の頃、ボーイスカウトのイベントで、若田光一さんの話を聞く機会があったね。ボーイスカウト出身で宇宙飛行士になった若田さんを見て、全力でやれば憧れの夢も実現するんだって思った。消防官って、幼い頃は人気でも、徐々に忘れられちゃう職業でしょ？それでも俺の中で憧れが消えなかったのは、全力で夢を実現したモデルケースに出会えたからかも。中三の時には、ボーイスカウトの世界ジャンボリーに、日本派遣団の一員として参加したよ。ロンドンの中心街に中高生だけで放り出されて、班ごとに自力でホテルまで帰って来いって言われてさ(笑)。あれ以来、苦手だった英語も全力で頑張るようになったね。

◆外部受験と消防官

三浦 外部受験を意識したのは？
石井 中学入る前からだよ。明校は第一志望で、一面倒見も良いけど、付属だとやっぱり、文武両道の「文」が足りないかなと。俺らの頃はまだ受験がタブーみたいな感じだったから、いま普通の選択肢になっているのは嬉しいね。受験を経験して明大入ったけど、同期でもそれを知らない人はいたと思う。実は俺だけ、付属の友人と学番号が離れていた(笑)。

三浦 現実的な選択肢として消防官を意識したのは？
石井 知られていないけど、実際の消防官は理系の仕事でもある。化学(消火)、機械(装備)、建築(建物構造)とかね。あとは東日本震災で再認識した部分はあったね。大学院在学中に晴れて消防官に合格。特に俺の場合は、体の線が細いから、体力試験でガタイのいいやつに伍していくために、歯をくいしばって頑張ったね。理系だから消防官ってのもあるけど、今考えてみると、ボーイスカウトで培ったチーム生活・行動力とか、寄り道してきたからこそ、憧れを実現出来たのかもね。

◆全力を出さない明校生へ

三浦 常に全力な石井ちゃん、八割の力で何でもこなす明校生の中では異端だね。
石井 消防官の仕事は、八割では許されないんだよ。よく、「自分の命、仲間の命も守れないヤツに他人の命を助けることなんてできない」って言われる。災害対応の最前線では、常に全力が求められるわけ。例えばロープの結び方一つにしても、日頃から訓練してミスのないようにしなきゃいけない。明校生の試験前全力ブリストは凄いいけど(笑)、それを普段から発

- 『M』編集部メンバー
- 林田こずえ (H23年卒):「言論の自由の女神」
 - 高橋凌士 (H23年卒): (今年度は休部中)
 - 三浦直人 (H23年卒):「入院3年目。病名、歴史学」
 - 朝倉貴紀 (H24年卒):「自宅で編集会議すっぱかす」
 - 土屋弦 (H26年卒):「デートで編集会議すっぱかす」
 - 岩田滯夏 (H27年卒):「ミドリムシ」
 - 坂本駿太 (H27年卒):「『過程』オタクのイクタミン」
 - 塩出研史 (H27年卒):「Ootover (オオトヤー)」
 - 垣白菜子 (H28年卒):「アウトサイダー」
 - 高波茉生 (H28年卒):「部外者」

(担当:三浦・土屋)

◆やっぱり明治がナンバーワン?

パーティーは、正副の幹事代表による開会宣言で始まった。続いて、中高六年間お世話になった青山貴子先生(旧姓山下)による乾杯の音頭。しばし歓談の後、「めいじろう」プリントケーキの登場。豪華景品付きの抽選会(※)なども行われた。

そして宴もたけなわ、最後の締めはやっぱり校歌。この代の応援団長であった鈴木悠介さんを中心に、全員で囲むようにスクラムを組み、最後まで歌い上げた。締めは校歌——。これは、世代に関係なく明校生に受け継がれていく伝統なのだろう。

※抽選会の豪華景品

- 一等 ペア宿泊券×1
- 二等 ペア食事券×1
- 三等 デイズニーペアチケット×3

10等まであって、総額は何と……、10万円だとか!

◆「ミニ幹事学年」の舞台裏

開催準備に奔走した、総明会クラス幹事代表・赤坂菜摘さんのコメント。

「幹事全員が集まることはなかなかできず、SNSのやり取りや、少人数での準備が主でした。全貌を把握していたのは僅かなメンバーのみで、正直苦しい時期もありました。当日準備をしていると、ドレスやスーツに身を包んだ同級生が集まってきた。本当に素敵でした。会が始まると、まるでそこは調布キャンパスの一角に。卒業から二年経っても、高校の頃のように盛り上がる同級生が、私は大好きです。会も無事成功し、苦しい時期を乗り越えてよかったと心から思いました」

熱意あふれるコメントの全文は、『オトナの過程』M』Facebookで公開中!



まぶしさを「一方」で……

光があれば影もある。華々しく開催されたパーティーの一方で、影にひそむ者たちの姿も。例えば、景品が当たっても、光り輝く舞台上に上がる勇氣が無く、結局名乗り出なかった者(かくいう筆者S本がそうである)。「大学でも会える」と、パーティーそのものに参加しなかった者。さらに他学年では、「まぶしい」メンツによるパーティーに対抗し、「地味」成人パーティーなるものを企画した猛者たちもいたと聞く。影の側にも、明校らしい「個」の論理が垣間見える。

「はじめに」はじめに

「総明会のイメージは？」と問われれば、多くの若手OBOGは、きっとこう答えるだろう。「ええと……;、宗教団体とか秘密結社の感じがする？」

移転共学化から一〇年弱を経て、おじさま方と若い世代との会話は、ますますかみ合わなくなってきた。もしかしてこのまま行くくと、同窓会は自然消滅してしまうのだろうか?

大先輩方と若い世代との間に横たわる、大きなミゾを埋めるには、若手OBOGが、自分たちの共感できる明校生像を模索し、提示・発信する場が必要だ。そんな思いから、「オトナの過程」M』は生まれた。

現役大学生や新米社会人が編集メンバーとなり、明校出身者の多様なキャンパスライフを描き出す。きっとそこから、『過程』とも『総明会会報』とも異なる、新たな明校生像が浮かび上がってくるはずだ。

(担当:三浦)

明高女子・現役女子大生・OLに、恋愛と美容の興味のポイントをアンケート。それぞれの世代を生きている明治女子のイマドキ事情とは？

※大学生・OLについては、明校出身ではない明大関係者にもご協力いただきました。

JK V.S. JD V.S. OL

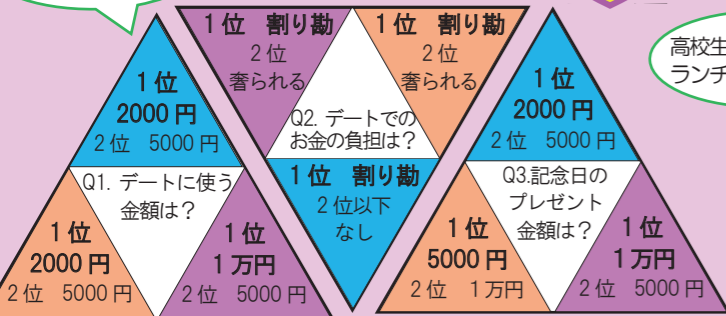
♡恋と美容のポイント対決♡

恋愛編

美容編

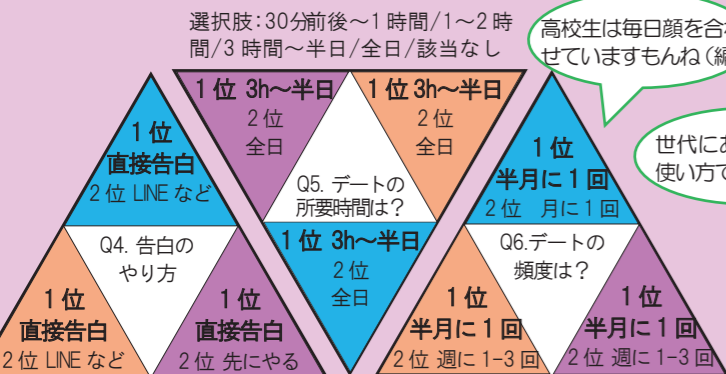
選択枝：ファミレス/ワンコインご飯/チェーン店のご飯処/お洒落なイタリアン/本格和食屋

見よ、社会人の経済力を！(編)



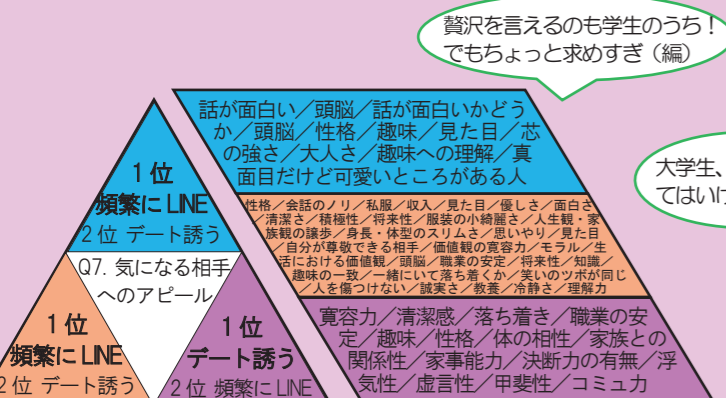
選択枝：2000円前後/5000円前後/1万円前後/該当なし

選択枝：2000円前後/5000円前後/1万円/5万円前後/該当なし



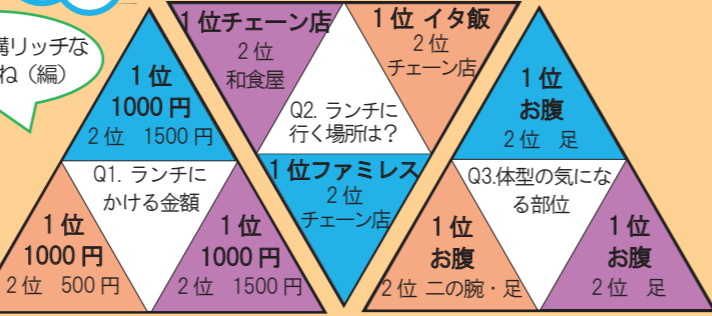
選択枝：LINE・メールなど/ラプター/告白よりも先にやること/該当なし

選択枝：毎日/週に1-3回/半月に1回/月に1回/半年に1回/該当なし

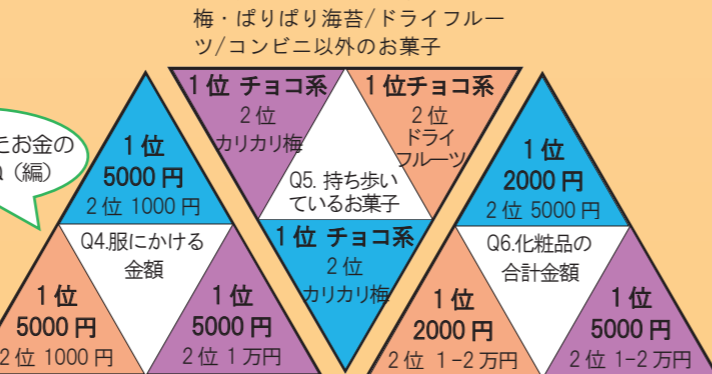


選択枝：ボディ・タッチ/頻繁にLINE/デートに誘う/わざと意地悪する/該当なし

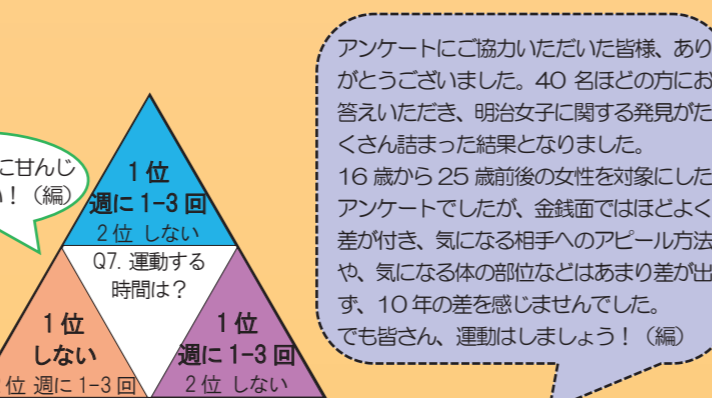
自由回答質問：パートナーに求めるものは？



選択枝：500円/1000円前後/1500円以上



選択枝：1000円前後/5000円前後/1万円以上/5万円以上



選択枝：毎日2時間以上/1週間に1-3回/月に2回/運動しない

凡例
質問内容 JKの回答 JDの回答 OLの回答
★票の多かった回答を紹介★

選択枝：チョコ・グミ/カリカリ梅・ぱりぱり海苔/ドライフルーツ/コンビニ以外のお菓子

高校生は毎日顔を合わせていますもんね(編)

世代にあったお金の使い方ですね(編)

贅沢を言えるのも学生のうち！でもちょっと求めすぎ(編)

大学生、若さに甘んじては行けない！(編)

アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございます。40名ほどの方にお答えいただき、明治女子に関する発見がたくさん詰まった結果となりました。16歳から25歳前後の女性を対象にしたアンケートでしたが、金銭面ではほぼよく差が付き、気になる相手へのアピール方法や、気になる体の部位などはあまり差が出ず、10年の差を感じませんでした。でも皆さん、運動はしましょう！(編)

文責：林田 担当：堀・岩田・高波

イクダの困難を乗り越えて

—ある生田民の心の叫び—

前々から思ってたけど、生田の冷遇っぷり半端ないな！この前、同期の集まりで、突然「駅前に12:00ね〜」って言われた。駅前ってどこだよ！生田駅に行くぞ！理系はお呼びでないってか！明大前が中心だと思うなよ！

ってか、生田坂に書いてある「アライグマ出没注意！」って何だよ。何でもキャンパス内に獣が出てくるんだよ。

他にもあるぞ。何でも生田だけ各停しか止まらないんだ。明大前・中野・御茶ノ水の3キャンパスは、全部特急まで止まる駅なのに。しかも、去年までは生田だけ、1限が10分早くスタートだったからね？おかしいだろ！

あと文系の人に「農学部です」って言うのと、「農家になんの？」って言うのやめてくんないかな？ならないから！

ああ、生田にもリパティタワー建ててくれ……。

(担当：坂本)

明校時代は生徒会本部に所属、現在は衆議院事務局に勤めています。いわば「国の生徒会」みたいなものですね(笑)。

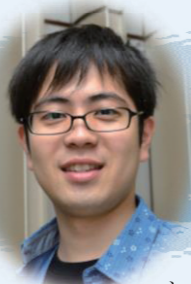
具体的には、衆議院議長・副議長・事務総長のサポートをしています。日々の業務の中で、生徒会時代の「文書主義」の経験が生きているのを感じます。

昔から自分のためというよりは、人のために何かをやりたいタイプでした。横須賀伴子先生のクラスでは、友人から「副担任」って言われていました(笑)。

テスト前も、成績で困っていた人の力になるよう努力していましたね。人のために働く公務員という仕事を意識したのも、ある意味必然だったかもしれません。

公務員試験を受けるにあたっては、明校時代の勉強法も役に立ちました。満点を目指すのではなく、確実に六、七割取

亀屋将紀さん
◆ H22年卒
◆ 生徒会本部
➔ 衆議院事務局



れるような対策をする。「負けないことがすなわち勝ち」というスタンスを貫きました。公務員試験の過去問でも、出題頻度の低い問題よりは、高い問題を重点的に押さえていましたね。学校の定期試験でも公務員試験でも、範囲を全てカバーしようとするのは、あまり得策ではないのかもしれない。

「国の生徒会」に入って早四年。当初は、直接住民の役に立つ仕事を目指し、公務員を志しましたが、今の仕事はどちらかというと、間接的に国民の役に立つ仕事という位置付けでしょうか。自分の関わった仕事がニュースや新聞で紹介された時には、良い仕事が出来て良かったとつくづく思いますね。

(聞き手：朝倉)

高三の「卒業研究」を「小論文演習」に切り替えることになったとき、「何でもよかったくないことを」と思った▼六年間ないし三年間の集大成として、卒業しなきゃならない執筆するといふ従来の制度は、いかにも明校らしい、生きた学びだったからだ。付属校ならだの取り組みから、枠にはまらぬトガった才能がいくつもある生み出されてきた▼と、長い文章を論理の破綻なく完結させるには、小論文のテクニクに留まらない、書き手の「軸」が必要だ。だから卒業の各作品には、未完成ではあれ、生徒一人一人の「軸」がきちんと貫かれています▼もちろん中には、ウィキペディアの引用でお茶を濁した方もいます。だがそんな御仁も、自らの「軸」が定まっていないことを自覚したという意味では、間違いない。個を追求するスタート地点に立ってはいただけで、確かに卒研は、すぐには役に立たぬ、「ムダ」の多い学びであった。しかしながら、即効性を欠く大らかな学びの中に、明校らしい個の芽吹きがあったこともまた事実である。

(担当：三浦)

Home
オトナの『過程』M @M-meiji
「オトナの『過程』M」公式垢です。只今『M』では、明校出身の奇才・塩出研史さんに関する目撃情報を集めています。07/08/2017, 6:16 PM

大戸屋店員T @tsuchiyaister 08/08/2017
この人は大戸屋中毒者です！今年はずでに96回も大戸屋へ通ったそうです。昼も夜も大戸屋に来たことがあり、少し引きました笑 いつもご飯は少なめの白米を選びます。

中学の同級生S @shunta 08/08/2017
中1の習字の授業では、隣の席の僕の左腕に、ひたすら墨を塗りつけてきました。

オトナの『過程』M @M-meiji 09/08/2017
はじめから変な情報ばかり来ましたね www

TOEIC 勉強会員 Y @inthemou 10/08/2017
TOEIC 勉強会を発足し、TOEIC への愛を周りに振り撒いていっちゃる。学部1年の頃にはTOEICで960点を取得されており、その愛の強さで右に出るものは無い。彼はそのままTOEICと共にどこへ行ってしまうのか…

研究室メンバーA @take 10/08/2017
彼はPHPというプログラミング言語を愛しています。研究にも力を注ぎ、学部2年の頃にはMouseTutorという題目で学会発表を行っていました。学部長奨励賞も受賞しています。

オトナの『過程』M @M-meiji 11/08/2017
変人とか天才とかいうか、とにかくトガった人材ですね！実はそんな塩出さんを『M』編集部へ迎え入れたいと思っています。

塩出研史 @KenshiShiode 12/08/2017
ん？僕のこと呼びました？

オトナの『過程』M @M-meiji
まさかの本人登場！突然ですが、あなたを『M』編集部へスカウトします！(完)
13/08/2017, 6:16 PM

(担当：塩出・坂本)

【注意】これは人物紹介記事です。現在の人物や団体などは、関係しかありません。